

事務事業 No./名 称	■サービス部門 健福-39 結核検診事業						
	□支援部門						
主管課	市民健康課		関連課				
分野名	健康福祉						
目標 (目標値)	市民の疾病予防と健康の維持						
人口等の データ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備 考		
	人 口	177,224人	177,204人	177,161人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世 帯 数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯			
	事業の対象者数						
運営資源 状 況	決算値(千円)	2,092	2,038	3,735			
	(国・県)	0	0	0			
	(負担金等)	0	0	0			
	(一般財源)	2,092	2,038	3,735			
	人員配置数	0.1	0.1	0.1			
	人件費(千円)	800	861	880			
	協働の パートナー	鎌倉市医師会 検診機関	鎌倉市医師会 検診機関	鎌倉市医師会 検診機関			
	事務事業 運営経費	総事業費(千円)	2,892	2,899			
市民1人当 りの経費(円)	16	16	24				
対象者1人 当りの経費(円)							
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名⇒						
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)
結核検診の受診率	△	目標値	10%	10%	10%	10%	10%
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	3.0%	2.8%	1.8%	1.8%	

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切＝○、要改善＝△(評価の視点を参照)	⇒	方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止
結核検診事業	2,092千円	①効率性 ○	②妥当性 ○	③有効性 ○	④公平性 ○	⇒ □A ■B □C □D □E
	事業の概要	・16歳～39歳の人を対象に結核検診(肺部のX線検査)を実施する				
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	若年層の検診機会を確保する必要がある。		
課題解決のための取組	健診機会の少ない若年層に対し、検診を継続し、結核の蔓延を防いだ。	取組の結果	■解決 □未解決
未解決の課題	引き続き、若年層の検診機会を確保する必要がある。		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	※□事業完了
	➡	②妥当性 ○		全国的に若年層の罹患率が増加傾向にあるため、引き続き検診の機会を確保するとともに、結核予防の啓発に努め、結核の早期発見・早期治療につなげていく。	↓ B 市民健康課長 大澤 一則
		③有効性 ○			
		④公平性 ○			

(2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
結核検診事業	749	結核検診委託料	3,206	2,092	○	○	○	○
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							